



みらいを、掘り起こせ

奈義町

岡山県 奈義町 少子化対策

～町全体での子育て～



INDEX



みらいを、掘り起こせ

奈義町

I 奈義町について

P.03～09

- ・沿革～地形／文化／芸術
- ・人口推移～推移シミュレーション～世代別構成比
- ・課題と目標

2 子育て応援宣言

P.11～15

- ・子育て応援宣言：はじめに
- ・子育て応援宣言：年表～発表
- ・子育て応援宣言：結果

3 子育て支援施策

P.17～32

- ・子育て関連施設
- ・しごとコンビニ事業～奈義しごとえん～こもりん
- ・主な経済的支援
- ・企業誘致～住宅の整備～ナギフトカード

I 奈義町について



【奈義町の概要】

- 昭和30年 2月： 3村合併により「奈義町」が誕生
- 平成14年12月： 合併の意思を問う住民投票を行い「単独町制」を決定
※投票率約75%（内約70%が合併しないを選択）
- 面積： 69.52km²（東西約9km/南北10km）
- 人口： 5,751人（2023.3.1現在） ※2022.4.1時点 5,725人
- 世帯数： 2,533世帯（2023.3.1現在）
- 特色： 自衛隊
 - ・ 日本原駐屯地
 - ・ 日本原演習場14.66km²
（奈義町分：11.94km²）＝行政区の約2割



地形 / 文化 / 芸術

中国山地の秀峰

国定公園
那岐山



地形

010000

奈義町ならではの旬の食材が味わえる

那岐山麓
山の駅



樹齢900年を超える
国の天然記念物

大銀杏



江戸時代から
継承される
県無形民俗文化財

横仙
歌舞伎



文化

CULTURE

故 磯崎新氏
プロデュース

奈義町
現代美術館



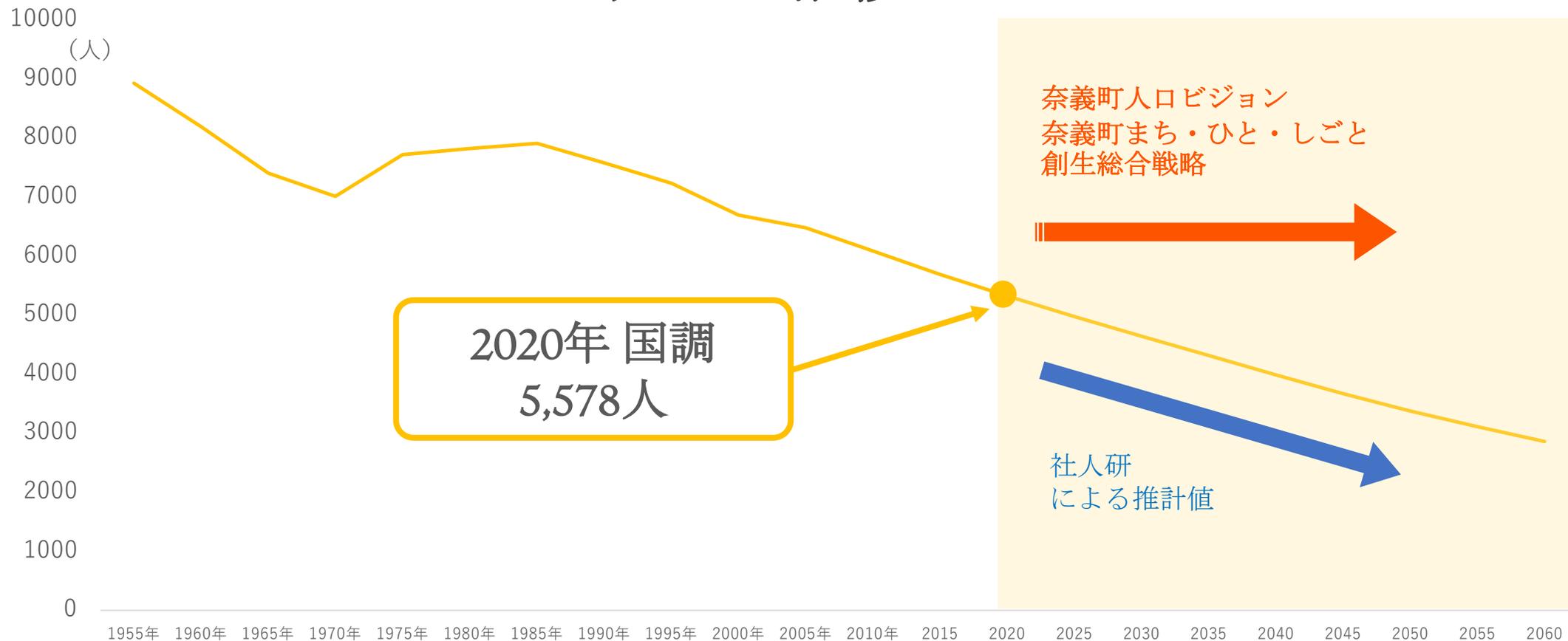
芸術

ART



人口の推移

人口の推移



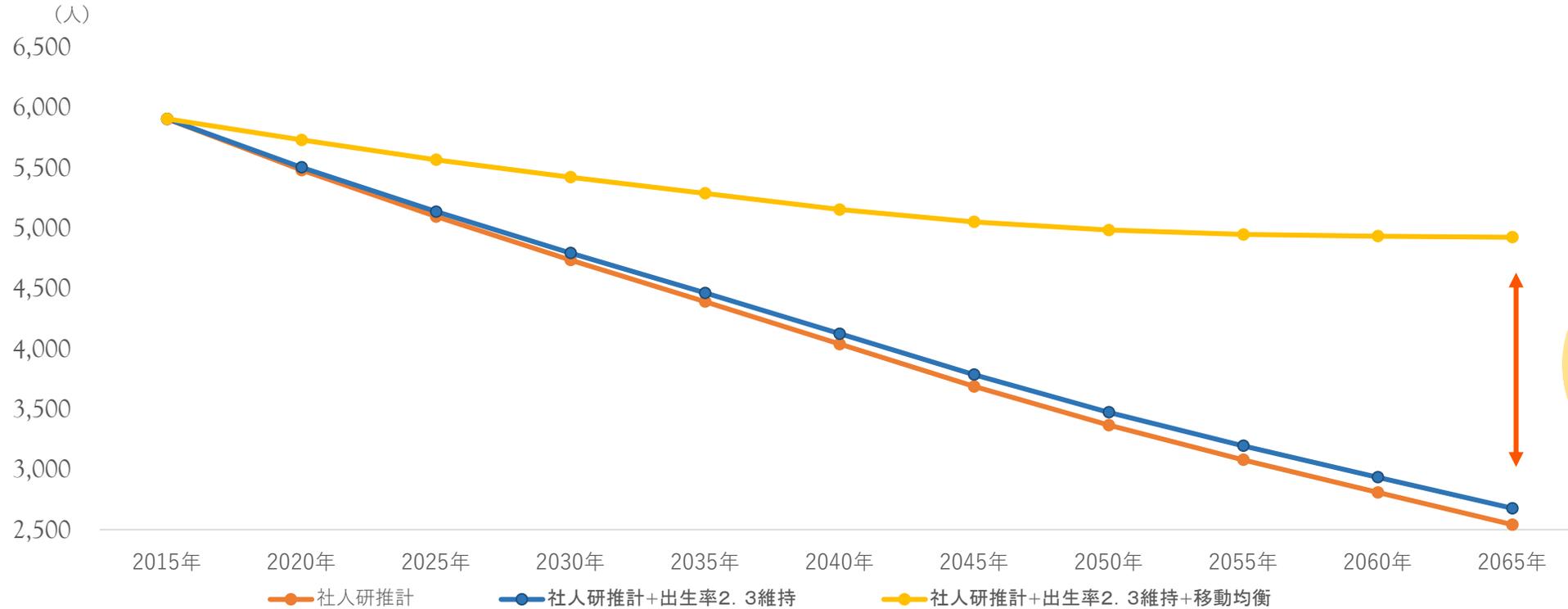
西暦(年)	1955	1960	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
総人口(人)	8,925	8,188	7,401	7,010	7,716	7,818	7,905	7,577	7,230	6,690	6,475	6,085	5,906	5,578 5,482	5,096	4,735	4,391	4,039	3,688	3,367	3,079	2,809

※2020年までは国勢調査 ※2025年からは社人研による推計



人口推移シュミレーション

人口推移シミュレーション

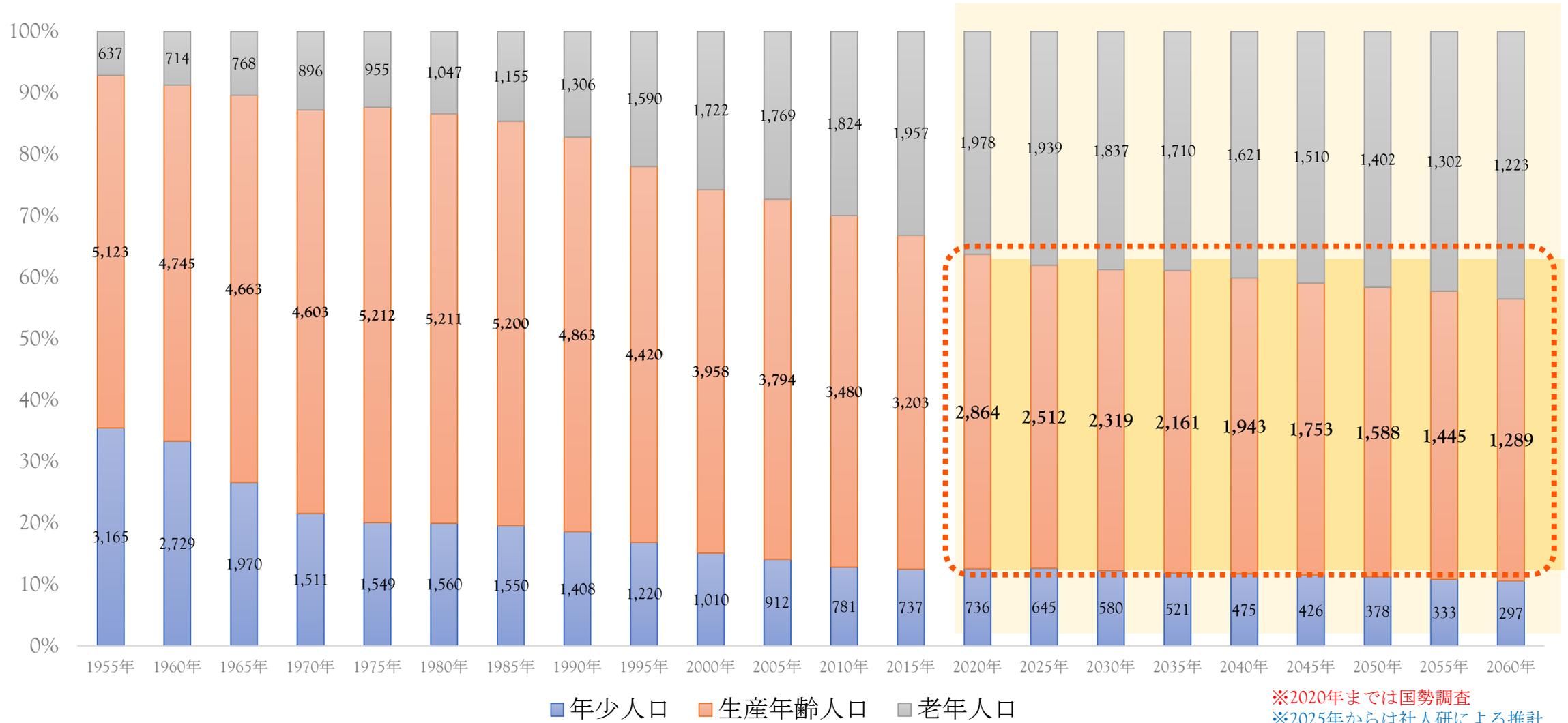


	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年
社人研推計	5,906	5,482	5,096	4,735	4,391	4,039	3,688	3,367	3,079	2,809	2,542
社人研推計 + 出生率2.3維持	5,906	5,504	5,137	4,793	4,463	4,125	3,786	3,474	3,196	2,935	2,678
社人研推計 + 出生率2.3維持 + 移動均衡	5,906	5,731	5,567	5,422	5,289	5,154	5,052	4,984	4,947	4,933	4,925



世代別構成比

世代別構成比



※2020年までは国勢調査
 ※2025年からは社人研による推計



奈義町の存続のため「人口減少」は最大の課題

課題 : 人口減少・少子高齢化



対策 : 定住促進のための

- ・ 子育て支援施策（産み育てる環境）
- ・ 住宅施策（住む環境）
- ・ 魅力ある教育
- ・ 就労の場の確保施策（働く環境）



目標 : 現在の人口を維持すること

	人口	高齢者率
2020年	5,578人	35.5%

対策が必要

2060年	2,809人 ↓ 変える	43.5% ↓ 変える
-------	--------------------	-------------------



2 子育て応援宣言

まちへの想い

～私たちが、未来に残せるもの～

私たちが暮らしている今の奈義町の姿は、これまで先人などたくさんの人たちが町の明るい未来を思い、力を合せて脈々と築いてきたものです。

これから **10年後の未来を少しでも想像してみてください。**

皆さんの家族、住んでいる地域、奈義町はどのようになっている、どのような暮らしをしているのでしょうか。

今、奈義町の抱える最大の課題は、“人口減少”です。人口減少は、町の基礎を揺るがす深刻な課題です。

この大きな課題を克服し、未来へ奈義町をつなげるため、チャレンジをしなければなりません。

若者が定住し、子どもが生まれ、高齢者がいつまでも元気に活躍するまち

そして

若者が思いっきり挑戦し、それを応援できるまち

魅力あふれる子育て、教育のできるまち

年をとっても、病気になっても安心して暮らせるまち

人が人を呼ぶ憧れのまち

私たちは、そのような明るい未来のあるまちを次世代に引き継がなければなりません。

美しい環境を守り、優しさと思いやりで、将来にわたり誰もが暮らし易いまちを次世代に引き継ぐ。

そのためには、町民皆さんと心をつなぎ、町民参加のまちづくりが必要です。

今を生きる私たちは、未来の創造者です。

この奈義町で暮らすすべての人、そしてこれから生まれてくる子どもたちが、10年後も、20年後もその先も、

幸せな笑顔で暮らしていけるように。

奈義町の明るい未来を一緒に創っていきましょう。



奈義町長 奥 正親

はじめに

少子化対策は子育て世代だけの問題ではない

だからこそ、課題を住民と一緒に考える

住民と一緒に話し合う



子どもが減り、若者や子育て世代が減少してしまうと、今ある商店やスーパー、病院、交通機関など、生活に必要な施設や機能、サービスを維持することは難しくなります。少子化による人口減少は、この町を70年、80年守り育ててくれた『高齢者』の安全・安心な生活にもつながる課題です。

少子化による人口減少は、この町に住む全ての人に関係する最大の課題といえます。

だからこそ、住民のみなで町の未来を考える。

子どもから若者、高齢者まで住みやすい町をみんなで創るために。

少子化対策は最大の高齢者福祉



奈義町子育て支援 年表 ~History~

年月日	出来事
2002 平成14年12月1日	合併についての意思を問う住民投票（12/6議会臨時会で決定）
2004 平成16年4月1日～	乳幼児及び児童生徒医療給付事業の拡充開始(H19,H20,H23,H24に拡充)
平成16年4月1日～	出産祝金交付事業開始（H21,H28,R2に拡充縮小）
2006 平成18年4月1日～	不妊治療助成事業開始（H22,H26に拡充）
2007 平成19年4月1日～	高等学校等就学支援金交付事業開始（H24,H26,H28,R2,R5に拡充）
平成19年4月1日～	なぎチャイルドホーム開設
2012 平成24年4月1日	子育て応援宣言
平成24年4月1日～	不育治療助成事業開始
2014 平成26年4月1日～	奨学育英金開始（R2に拡充）
2016 平成28年4月1日～	在宅育児支援金交付事業開始（R2に拡充）
2017 平成29年4月1日～	しごとコンビニ事業開始
2020 令和02年4月1日～	子育て家庭食育支援事業開始
2022 令和04年4月1日～	子育て家庭学校教育等支援事業開始



子育て応援宣言の発表

奈義町子育て応援宣言

子ども達は次代を担うかけがえのない存在で、奈義町を守り支えてこられたお年寄りとともに、奈義町の大切な宝物です。

その子ども達が夢と希望を持ち健やかに育つことは、奈義町の未来であり奈義町の希望です。

子どもを産み育てやすい環境をつくり、健康で心豊かなたくましい人に育てることは、わたしたち町民みんなの大切な使命であり、この取り組みをいっそう推進し、奈義町に住めば子育てが安心、奈義町は子育てがしやすいまち、との声が全国に広まることを目指します。

そのため、行政の役割を自覚し奈義町として子育て支援にいっそう力を入れ、「子ども達の元気な声と笑顔が溢れ子育てに喜びを実感できるまち」、「家庭・地域・学校・行政みんなが手を携え地域全体で子育てを支えるまち」を目指し、ここに「奈義町子育て応援宣言」を行います。

平成24年4月1日

岡山県奈義町

平成24年4月1日 奈義町子育て応援宣言を発表

行政



町民

町民へ行政が約束をする

宣言することで

町民へ『安心感』と『心強さ』を



高い合計特殊出生率の達成

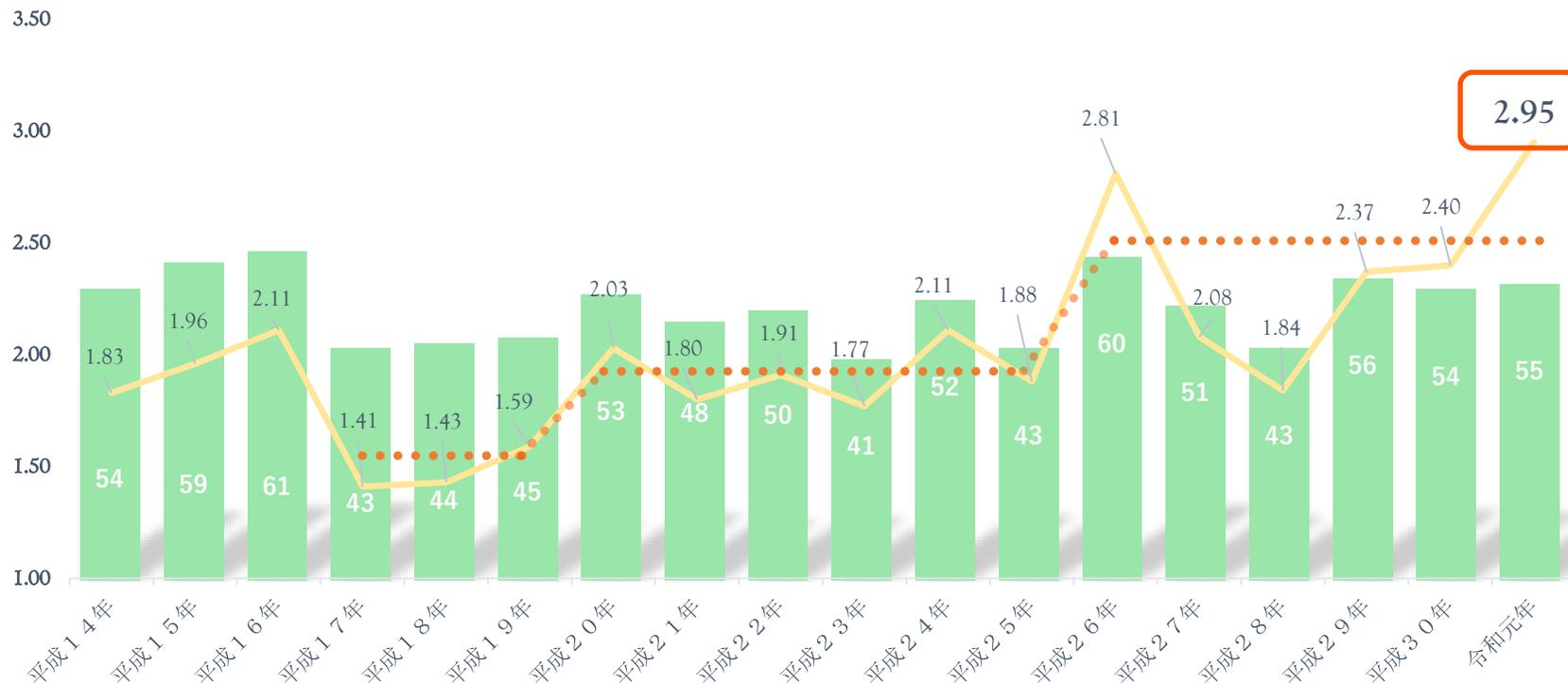
若者定住施策

就労対策

独自の子育て支援策

を積極的に進めてきた結果・・・

令和元年：合計特殊出生率「2.95」を記録



出生率は、
階段状に上昇

※町速報値
令和2年 2.25
令和3年 2.68



3 子育て支援施策

チャイルド
ホーム

住宅整備

しごと
コンビニ事業

子育て施設

奈義町の 子育て支援の 主な特徴

しごとえん

経済支援

企業誘致



子育て関連施設

保育園 1 園・幼稚園 2 園

小学校 1 校

中学校 1 校

子育て支援施設
(チャイルドホーム)

令和 6 年春 こども園 開園 (予定)

令和 6 年春 建て替え完了 (予定)

令和 2 年度 全面リノベーション
(旧保育園)

病児保育
充実

こども園__外観イメージ



奈義ファミリークリニック



(岡山家庭医療センター)

- ・乳幼児健診
- ・学校医
- ・予防接種
- ・キッズ医療体験
- ・病児保育



産前産後のアプローチ

保健師による母子手帳交付時の面談

⇒悩み相談、各種子育て支援サービスの紹介

きずなメールによる情報配信

⇒産前産後、育児に必要な情報をプッシュ型で配信。健診情報や各種イベント等、子育て支援情報を提供

保健師による新生児全戸訪問

母乳相談

⇒産後1年未満の産婦で、母乳育児等について相談支援が必要な方に助産師が無料で訪問（回数制限なし）

産後ヘルパー

⇒就園前までのこどもがいる方で、簡単な家事などの支援を希望される方に生活支援サポーターが訪問（30分250円）

産前

出産

産後

子育て相談日

⇒妊娠中の方、お母さんやお父さんなど子育てに関わる方を対象に毎週木曜日に保健相談センターで実施。（予約不要、電話可）



【産前産後アプローチの更なる推進！】

今後実施予定の事業

- ①心理士による産前産後のカウンセリングの導入
⇒心理士による産前産後の定期的カウンセリングの実施
- ②父親の子育て力アップ事業
- ③子育て適応包括支援尺度（CPRA）を活用した個別支援
⇒大阪大学との連携事業
町が保有する母子保健情報を基に「生誕1000日見守り研究」を実施。産後うつ予防への効果を期待



なぎチャイルドホーム



[子育ての心の支え] なぎチャイルドホームとは？

子育て世代が気軽に通える施設として開放しています。常駐する「子育てアドバイザー」に育児に関する相談にのってもらったり、子どもの社会的経験の場となるような活動を行ったりしています。そのほか、地域住民による子どもの一時的な預かりや、親子向けのイベントなども行っています。



「子育ての相談がしたい」「地域の方と交流したい」「子ども同士で遊ばせたい」など、ふらっと立ち寄れる心地よい場所です！

子育てアドバイザーの貝原さん（左から2番目）と、スタッフの方々

ちょっと子どもを預けたい時の 一時保育「すまいる」

「病院に行く間、下の子を預かってほしい」「買い物に行く間だけ子どもを見てほしい」など、一時的に子どもを預かってほしい時に、子育て援助会員に依頼できる制度です。『なぎチャイルドホーム』以外に、援助会員の自宅で預かってもらうこともできます。



『なぎチャイルドホーム』
子どもを預かる会員

週4で通え、親同士で協力する 保育活動「自主保育たけの子」

幼児期の子どもたちに「家庭的な雰囲気の中で育ててほしい」という願いから始まった自主的な保育活動です。保護者と保育士が、毎週火～金曜に当番制で子どもたちの面倒をみながら、遊びや活動を行います。子どもだけでなく、親同士の交流の場にもなっています。



親子で協力して
作った昼食を
楽しむ様子

各種イベントや 座談会も！



助産師や心理士などの講師を招いた座談会や、赤ちゃんを連れて参加できるリトミックなどのイベントを定期的で開催しています。

町民同士で
支えあう
子育てサポート制度



しごとコンビニ事業



- 子育てしながら空いた時間に**ちょっとだけ**働きたい！
子連れでも働きたい！
- 自分の自由な時間を使って**ちょっとだけ**、みんなと一緒に仕事をしたい！



- 常勤で雇用するほどではないけど、繁忙期に**ちょっとだけ**手伝って欲しい！
- 草刈りや片づけなど、困ったときに**ちょっとだけ**手助けして欲しい！



「しごとコンビニ」事業

目的

- ① 子育てしながらでも、就労できる仕組みや環境を整備する。
- ② シニア世代など、“時間に余裕のある人”“社会の役に立ちたいと考える人”らが、少しでも働くことができるようにする。
- ③ 一つの仕事を、みんなで“ワークシェア”することで、より多くの人が地域や社会に関われるような、“総活躍のまち”をつくる。
- ④ 町の中に今ある仕事や、新しい仕事の“受け皿づくり”をすることで、新たな産業の創出や、働きやすい職場環境を作っていく。
- ⑤ 仕事を任せる側（事業主など）の、業務の効率化を図る。

対象

子育て中の母親、なごチャイルドホームの利用者、保育園・幼稚園・小・中・高校生の保護者、シニア世代など

実施主体

一般社団法人しごとえん（町民主体で法人化）

事業のしくみ



仕事の例



封かん・発送



PC入力



軽作業



整理・片付け



清掃



電話応対



梱包



農作業



案内



学習指導





奈義しごとえん（1箇月のしごと例）

企業	個人	役場
菜の花米梱包業務	草刈り・森林伐採業務	封入・ラベル貼り業務
草刈業務	空き家管理業務	消毒業務
施設管理業務	管理機がけ業務	防虫剤散布業務
清掃・トイレ清掃業務	墓地清掃業務	清掃業務
チラシデザイン業務	マムシ退治業務	郵便物の振り分け業務
チラシ挟み込み代行業務	ドローン散布業務	剪定・草刈業務
衣服の名前付け業務	供花業務	広報紙挟みこみ業務
トイレ清掃業務	農作業（キャベツ・カブ・黒大豆etc収穫）	スマホ教室
商品撮影・ポップ作成業務	野菜加工、お総菜製造補助	
その他、雑務多数	衣服の名前付け業務	庁舎清掃業務
受注件数 57件	受注件数 50件	受注件数 32件



▲ 企業への説明風景



▲ 農作業を高齢者で行う



▲ ちょっとの時間で軽作業



▲ 高齢者へのパソコン教室

ちょっとした需要と共有 / 高齢者が子育てママの悩みに共感 / 子育てママとの交流で高齢者も元気に!



子どもの見守り制度

子どもの見守り「こもりん」



大人が交代制で
子どもたちを
見れる仕組み



ライターの仕事をするママさん



その頃
娘さんはお友達の
ママが見守り



2019年よりママさんたちの意見交換を重ねて運用中



経済的支援の主な例

町民の気持ちに寄り添った経済支援



保育料が国基準の
約半額
さらに第2子はその半額
第3子以降は無料

小中学校の給食費の
半額を
町で負担



小中学校の教育
教材費を
無料化



高校生までの
医療費無料

大学生に町独自の
奨学育英金
卒業後に町への定住で
全額返済免除



特定不妊治療を
受けた方に県の助成を
引いた額の1/2以内で
年額20万円を助成

在宅育児をする
保護者に
毎月15,000円の
支援金



高校生への
就学支援として
年額240,000円の
支援金

おたふくかぜや
インフルエンザなどの
予防接種も助成



中学3年生までの
子どもを育てる
ひとり親に
年額5万4千円を支給
第2子以降は
1人2万7千円加算



働く仕事の提供：企業誘致



平成4年完成
【全区画完売】
全16社立地
約800名が就労



住む場所の提供：賃貸住宅（満室）

区 分	若者住宅（40歳以下又は中学生までの子育て世帯を対象）			定住促進住宅	合 計
	ユースメゾン奈義	パークサイド奈義	グリーンビレッジ奈義	センタービレッジ奈義	
入居開始	平成23年6月	平成26年3月	平成27年3月	平成27年3月	—
戸 数	4戸	5戸	12戸	60戸	81戸
住宅形態	集合	戸建	戸建	集合	—
居室の状況	2LDK×2 3LDK×2	3LDK×4	3LDK×4	3DK	—
月額家賃	2LDK：45,000円 3LDK：50,000円	50,000円	50,000円	1～2階：30,000円 3階：25,000円 4～5階：22,000円	—

ユースメゾン奈義



平成23年完成：若者住宅（集合住宅4戸）

パークサイド奈義



平成25年度完成：若者住宅（戸建5戸）

センタービレッジ奈義



平成27年1月取得→定住促進住宅（60戸）

賃貸住宅不足を解消するため、
町で「民間賃貸住宅の建設」を助成。

- 戸建て賃貸住宅：100万円／戸を助成
- 集合賃貸住宅：50万円／戸を助成
- 空家リノベーションによる賃貸：100万円／戸を助成



住む場所の提供：賃貸住宅（若者向け住宅の建設）

グリーンビレッジ奈義



平成26年度完成：若者住宅（戸建12戸）
木造2階建/戸建住宅を12棟整備

- ・延床78㎡
- ・木造2階建
- ・間取3LDK

オール電化や浴室乾燥など
子育て層の声に対応した賃貸住宅



分譲住宅の整備

住む場所の提供：分譲地整備

	西谷団地	金剛田団地	西ノ谷団地	御崎野団地	つくし団地	豊沢中央団地	合計
分譲開始	H3.10.11	H7.7.3	H9.11.4	H12.3.1	H14.9.2	H23.7.11	—
分譲完了	H3.11	H8.7	H31.3	R4.3	H26.1	H25.11	—
分譲区画数	5	11	9	37	16	9	87
分譲済み	5	11	9	37	16	9	87
残区画	0	0	0	0	0	0	0
分譲率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%



金剛田団地



御崎野団地



つくし団地



豊沢中央団地



西ノ谷団地

- ・分譲地紹介報奨制度（30万円）
- ・新築住宅普及促進事業補助金（町内新築 20万円、地元業者施工30万円、家族加算 50万円（上限） 計100万円）



住む場所の提供：分譲地の状況（不足の対応）

①民間分譲地整備補助

- 1区画当たり50坪以上
- 補助対象は、造成工事費（上下水道整備費含む）
- 補助率3分の1以内
- 補助上限額 1区画当たり100万円



T地区：2021年度_民間開発（4区画）▷

◁A地区：2021年度_民間開発（7区画）



②エリア整備に向けPPP/PFIに着手



多世代共生型 ナギフトカード

【機能】

- ①ナギフトポイント **2018年4月スタート**
⇒行政ポイント全56メニュー+買い物ポイント
・・・貯まったポイントは1ポイント1円で利用できる！
- ②ナギフト支援券 **2018年6月スタート**
⇒地域プレミアム商品券の電子版（地域活性化支援券）
※令和4年度は、1万円で1.3万円が利用できる！
- ③ナギフトマネー **2021年1月スタート**
⇒自分のお金を加盟店でチャージして使える電子マネー
- ④給付金 **2021年4月スタート**
⇒長引くコロナ禍の家計への経済支援と、地域経済の活性化を図るため、ナギフトカードを通じて給付金を交付。

【スマホ連携】

- ★スマホ等で利用できる奈義町公式アプリの機能により、ナギフトカードと連携
⇒ポイントや電子マネーの残額・利用や付与歴が確認できる他、スマホでQRコードを表示することに、スマホ決済も可能！



町民
カード

ICチップ入り
電子カード
(全町民所持)

※町民外カードも発行中



子育てメニューも



地域ぐるみで子育て



地区

町内
医療機関

愛育
委員会

保育園
幼少中
PTA

子育て
ボランティア

子育て
グループ

地域みんなで
子育て支援

老人
クラブ

チャイルド
ホーム

民生委員
児童委員

教育
委員会

行政
町・保健所

栄養
委員



高い合計特殊出生率の鍵は 「安心感」

住むところがあって安心

(若者住宅、定住促進住宅、安価な分譲地など)

働くことができ安心

(工業団地や起業支援、しごとコンビニ、シェアオフィスなど)

子育ての負担が軽くなって安心

(出生から大学卒業まで切れ目のない経済的支援)

子育ての悩みや喜びが共有できて安心

(チャイルドホームが核となり多様な地域の人に関わる仕組み)

町のみんなが子育てを応援してくれて安心

(一時預り、自主保育、登下校の見守り、学校支援ボランティアなど)





テレ朝



テレ東

ご視聴ありがとうございました。



APPNDIX

奈義町の子育て支援施策の概要

I/3

番号	事業名	事業概要	令和4年度予算
1	高等学校等就学支援金交付事業 (単町事業)	<p>高校生の就学支援として、生徒1人当たり年額13万5千円を在学中の3年間支給</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成19年4月～ 高等学校等に入学時に50,000円/人 ○平成24年4月～ 高等学校等在学中3年間、50,000円/人・年 ○平成26年4月～ 高等学校等在学中3年間、60,000円/人・年 ○平成28年4月～ 高等学校等在学中3年間、90,000円/人・年 ○令和2年4月～ 高等学校等在学中3年間、135,000円/人・年 ○令和5年4月～ 高等学校等在学中3年間、240,000円/人・年 	17,550千円
2	不妊治療助成事業 (単町事業)	<p>奈義町に1年以上住所を有した戸籍上の夫婦で、県指定の医療機関で特定不妊治療（体外受精・顕微授精）を受けた者に助成。県の助成を引いた額の1/2以内で年20万円を限度、通算5年間まで。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成18年4月～ 限度額年50,000円 ○平成22年4月～ 限度額年100,000円 ○平成26年4月～ 限度額年200,000円 	600千円
3	不育治療助成事業 (単町事業)	<p>奈義町に1年以上住所を有した戸籍上の夫婦で、不育治療を受けられた方に助成。助成額は、1年間の治療費等で30万円を限度。通算5年間まで。（平成24年4月～）</p>	
4	妊婦・乳幼児健診事業	<p>母子手帳交付時に受診券（無料券）を交付し、母や子（胎児）の健康確保と経済的負担を軽減し、子育て支援を図る。妊娠中の妊婦健康診査の公費負担を14回まで実施。 （制度は平成19年4月～ 現行は平成21年4月～）※年齢制限なし</p>	7,652千円
5	出産祝金交付事業 (単町事業)	<ul style="list-style-type: none"> ○平成16年4月～ 第3子以降の出生児に、100,000円 ○平成21年4月～ 第3子200,000円、第4子300,000円、第5子以降400,000円 ○平成28年4月～ 第1子100,000円、第2子、150,000円、第3子200,000円、第4子300,000円、第5子以降400,000円 ○令和2年4月～ 第1子以降100,000円 	5,500千円
6	乳幼児及び児童生徒医療費給付事業 (単町事業)	<p>高校生までの子どもの医療費のうち、保険診療に係る自己負担分を町が負担。（入院、通院の両方）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成16年4月～ 小学生入院まで ○平成19年4月～ 小学生の入通院と中学生入院まで ○平成20年4月～ 小中学生の入通院まで ○平成23年4月～ 小中学生の入通院と高校生入院まで ○平成24年4月～ 高校卒業までの医療費を完全無料化 	32,000千円
7	ひとり親福祉年金交付事業 (単町事業)	<p>義務教育終了（中学3年生）までの子を養育しているひとり親に年額5万4千円を支給。第2子以降に対しては、1人増すごとに2万7千円加算。（現行は平成13年4月～）</p>	2,300千円
8	保育料多子軽減等事業 (単町事業)	<p>保育料は第1子を国基準の55%に軽減。第2子半額・第3子以降無料。 なお、第1子は高校生までもカウント（制度は平成19年～ 現行は平成28年～）</p>	— 千円

奈義町の子育て支援施策の概要 2/3

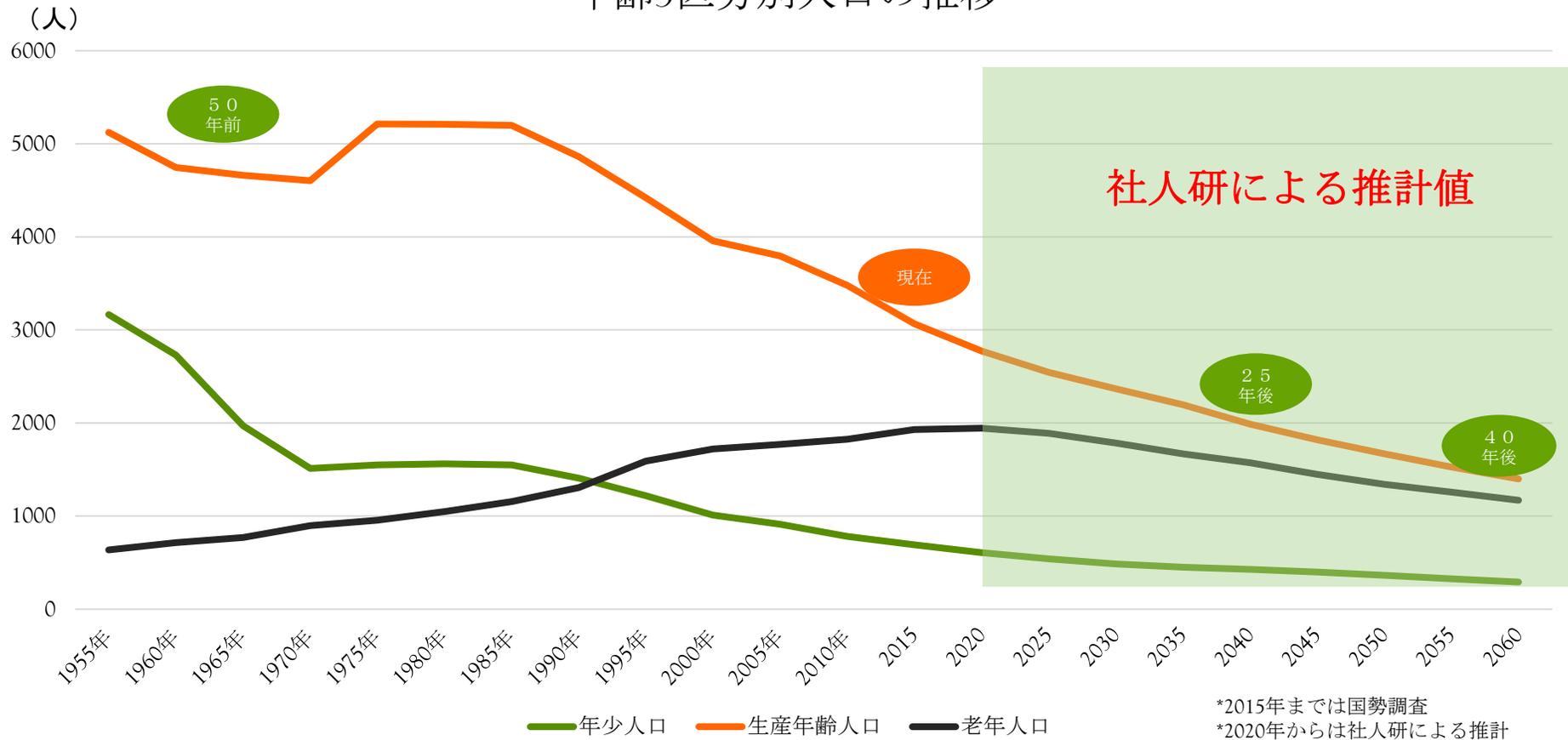
番号	事業名	事業概要	令和4年度予算
9	在宅育児支援金交付事業 (単町事業)	在宅で育児をする保護者に対し、該当児1人当たり月1万5千円を支給。 (満7か月～満4歳になった後の最初の3/31まで) ○平成28年4月1日～ 在宅で育児をする保護者に、6か月～幼稚園入園まで、10,000円/月 ○令和2年4月1日～ 在宅で育児をする保護者に、6か月～幼稚園入園まで、15,000円/月	13,500千円
10	奨学育英金 (単町事業)	勉学意欲がありながら経済的理由により就学が困難な大学生等に対し、無利子で最大年額60万円の育英金を貸与。卒業後に町内に居住することで、最大全額の返済免除あり。 ○平成26年4月1日～ 最大年額36万円 ○令和2年4月1日～ 最大年額60万円(コロナで増額)	3,600千円
11	子育て家庭食育支援事業 (コロナ対策)	小中学校で提供する学校給食費の食材費購入助成。 これにより核児童生徒の学校給食費は概ね半額負担程度に軽減される。※物価上昇にも対応! 令和2年4月1日～ ○小学校: 265円(R1)→130円(R4) ○中学校: 305円(R1)→150円(R4)	13,220千円
12	子育て家庭学校教育等支援事業 (コロナ対策)	小中学校の教育教材費の無償化。 令和4年4月1日～	7,768千円
13	軽度発達障害児相談支援事業 (単町事業)	増加傾向にある発達障害児等の支援体制として、津山みのり学園と委託契約を行い、心理士による、チャイルドホーム、保育園、幼稚園、小学校、中学校訪問を行い連携を取りながらの支援と、個別相談体制の充実を図る。(平成18年～)	886千円
14	おたふくかぜ予防接種 (単町事業)	おたふくかぜは、ムンプスウイルスが原因である流行性耳下腺炎を指し、ワクチン接種は任意接種であるため接種率は約3割と低い。合併症として無菌性髄膜炎等が見られる。小児科医や町内医師も接種を強く推奨しており、ワクチンによって回避できる疾病として認識されている。ワクチンは1歳児と幼稚園年長の2回接種を全額助成。(平成25年～)	2,029千円
15	インフルエンザワクチン接種 (単町事業)	高校生までのインフルエンザ感染予防を図る。 13歳未満は2回接種で1回目のみ個人負担 1,700円、 13歳以上は1回接種で個人負担 1,700円(平成25年～)	
16	病児・病後児保育事業	奈義ファミリークリニックで病児及び病後児の一時預かり保育を実施。 対象児童: 町に住所を有する生後6か月から小学校3年まで 料 金: 個人負担2千円 定 員: 4人	—千円

奈義町の子育て支援施策の概要 3/3

番号	事業名	事業概要
17	なぎチャイルドホーム	つどいの広場「ちゅくしんぼ」、子育てサポート「スマイル」、自主保育「たけの子」 親子クラブ等の活動の場、乳幼児・園児・児童・高齢者の交流の場 利用料：無料 対象者：乳幼児から高齢者 令和3年度延べ利用者数：13,488人
18	つどいの広場「ちゅくしんぼ」	子育てアドバイザーを配置し、乳幼児等をもつ子育て中の親子が集い、親子での交流や、 子育てについての相談の場として利用する。月曜日～金曜日（祝日等は除く）、午前9時～午後3時 利用料：無料 対象者：0歳から就園前の乳幼児と保護者 令和3年度延べ利用者数：6,181人
19	子育てサポート「スマイル」	保護者が行事等で家庭保育ができないとき、なぎチャイルドホーム又は子育て援助者の自宅等で一時預かりを行う （H19～）月曜日～金曜日（祝日等は除く）、午前8時30分～午後5時 （子育て援助者の了解が得られた場合は、土・日・祝日も利用可能） 300円／人・時間 対象者：6ヵ月から小学校1年生まで（会員登録者） 令和3年度利用者数：172人
20	自主保育「たけの子」	自然とのふれあいを大切に、保護者どうしが助け合い、保育士と協力しながら自主的に保育活動を行う。 （H28～）火曜日～金曜日 午前9時～午前12時 対象者：2歳半から就園前の幼児と保護者（平成19年～） 年会費：100円（保険料含む） 令和3年度延べ利用者数：4,630人
21	奈義保育園	保護者が仕事、出産、病気等の事情により、家庭保育が困難な場合に保育を行う 月曜日～土曜日（祝日等は除く）午前7時30分～午後6時30分 保育料は国基準の55%、高校生を含めた多子軽減を実施（平成19年～）（第2子・半額、第3子から無料） 対象者：0歳児～3歳児
22	一時保育	保護者の就労形態、疾病等による緊急時に一時保育を行う 就労形態等による場合は週3日以内、入院・疾病等による緊急時は月12日以内 1,800円／人・日 対象者：1歳以上4歳未満（平成20年～）
23	幼稚園 育児支援	幼稚園終了の午後、家庭保育が困難な園児を預かり、遊びを通じて自主性、創造性を養う 月曜日～金曜日（祝日等は除く）、午後1時30分～午後6時（夏休み等は、午前8時30分～午後6時） 無料 土曜日は午前7時30分～午後6時まで 対象者：在園児（制度：平成9年～ 現行：令和元年～）
24	小学校 なぎ放課後児童クラブ	放課後等、家庭保育が困難な児童に生活指導等を行う 月曜日～土曜日（祝日等は除く）、午後1時30分～午後6時（夏休み等は、午前8時30分～午後6時） 第1子：6,000円／人・月（10日未満は300円／人・日）※第2子は第1子の半額、第3子以降は無料 対象者：在学児童（制度：平成9年～ 現行：平成20年～）

年齢3区分別人口の推移

年齢3区分別人口の推移



	1955年	1960年	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
年少人口	3,165	2,729	1,970	1,511	1,549	1,560	1,550	1,408	1,220	1,010	912	781	737	687	645	580	521	475	426	378	333	297
生産年齢人口	5,123	4,745	4,663	4,603	5,212	5,211	5,200	4,863	4,420	3,958	3,794	3,480	3,203	2,806	2,512	2,319	2,161	1,943	1,753	1,588	1,445	1,289
老年人口	637	714	768	896	955	1,047	1,155	1,306	1,590	1,722	1,769	1,824	1,957	1,989	1,939	1,837	1,710	1,621	1,510	1,402	1,302	1,223

総人口と高齢化率の推移

